

環境調査結果のお知らせ

平成22年1月28日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年1月28日午前10時に浦戸湾（高知市横浜・県漁協高知市支所前岸壁）の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

溶存酸素

溶存酸素濃度は6.6～8.5mg/lでした。各層とも酸素飽和度は80%以上で、港内の環境としては比較的良い状態で推移しています。

水温

水温は12.3～16.4℃でした。前回調査（平成21年12月28日）より、表層で約3℃、2m層以深で約2℃下がっています。表層は夜間冷却や雨の影響を受け易いため、中～底層より変化量が大きくなっています。

塩分

塩分は25.23～32.91でした。昨夜の雨で表層の塩分が少し下がっていますが、内湾の環境としては比較的安定して推移しています。

プランクトン

採水の顕微鏡観察では、小型の渦鞭毛藻類（プロロセントラム類）、ケイ質鞭毛藻類（ディクチオカ）が優占して出現し、微細藻類、珪藻類、繊毛虫類なども観察されました。プロロセントラム類は各層で21～28cells/ml、ディクチオカは2m層以深で22～25cells/mlでした。プロロセントラム類は基本的に魚類には無害ですが、浦戸湾では毎年、春先から初夏に赤潮を形成しています。ディクチオカは沿岸域では普通に見られますが、北欧では赤潮になり魚類を窒息死させたことがあるので注意が必要です。その他、特に危険な有害プランクトンは確認されませんでした。

環境は比較的安定していますが、海面の様子や魚など生き物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

平成22年1月28日の観測結果（高知市横浜 水深：3.3m 透明度：2.8m）

水温：℃

塩分：psu

溶存酸素：mg/l

	今回調査結果				前回の結果（2009.12.28）		
	水温	塩分	溶存酸素	出現プランクトン	水温	塩分	溶存酸素
0m	12.3	25.23	8.5	プロロセントラム類	15.5	28.57	6.3
2m	16.4	32.56	6.9	ディクチオカ	18.5	32.47	4.5
3m	16.3	32.91	6.6	微細藻類・珪藻類 繊毛虫類	18.7	32.85	4.0

※前回調査の底層は2.6m

以上